

# N 中央労福協ニュース NEWS LETTER

労働者福祉中央協議会（中央労福協）  
発行人 花井 圭子

No. 143

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町 3-8 中北ビル 5F

Tel. 03-3259-1287 URL <http://www.rofuku.net>



## 6.29 女性の参画で共助の輪を広げよう！

“ろうふく”の日 シンポジウム「女性のひろば」を開催



中央労福協は 6 月 29 日、初の試みとして労働組合・福祉事業団体・地方労福協の各団体で働き、活動する女性を対象としたシンポジウム「女性のひろば」を東京都内で開催した。団体の枠を越え、全国から 88 名の女性が参加した。

各地から 88 名の女性が参加した＝6 月 29 日、東京都内



冒頭、主催者挨拶で中央労福協・山中しのぶ副会長は、開催理由と目的を説明し、「今回多くの女性が参加したことに厚くお礼を申し上げる」と述べた。

続いて、中央労福協・花井圭子事務局長が「中央労福協の理念、歴史と現在の主な取り組み」についてこれまでの社会運動、ビジョンも含めて報告し、「偶然にも本日 6 月 29 日は（ろうふく）の日」と述べた。

記念講演では、「子どもの貧困問題～私たちにできる事～」と題し、首都大学東京・阿部彩教授が講演を行った。阿部



首都大学東京  
阿部 彩 教授



NPO 法人 BOND プロジェクト  
橘 ジュン 代表

教授は「子どもの貧困には、子どもの問題のみで捉えると本質は捉えられず、労働問題のひとつである女性の貧困が隠れている」と指摘した。また、「学力、いじめ、孤立、栄養など貧困と健康の経路は 1 つではなく、何とかしたい気持ちやできることを女性が発信し、理解と情報の拡散で子どもの応援団になって頂きたい」と強調した。

支援活動報告では NPO 法人 BOND プロジェクト・橘ジュン代表が、「さまよう少女への支援」と題して、「行政だけでは担う事ができない活動で、虐待・性暴力・依存症・自傷行為など『生きづらさ』を抱えた少女たちを見守り、自己肯定感が低い彼女たちが本音をつぶやいても危険な目にあわない安心・安全な居場所づくりを目指している」と

その活動を報告した。

休憩時の「健康タイム」では、医療福祉生協連・多賀谷真樹会員支援部長の指導で、インフルエンザ予防にも効果のある「あいうべ体操」を参加者全員で実践した。

リレートークでは、「女性の参画と連携で共助の輪を広げよう」と題し、中央労福協・南部美智代副会長、労金協会・大島ひろみ政策調査室次長、全労済・富永紅常務執行役員、日本生協連・新井ちとせ副会長、労協連・田中羊子副理事長、沖縄県労福協・岡野みゆき事務局長の 6 名のパネラーが、各団体紹介、仕事に就いた経緯、今日までの思いや参加者へのメッセージを語った。

閉会挨拶で南部副会長は「女性同士の出会いの場から始まった今日を契機に、今後も交流を深めていきたい」と締めくくった。

懇親会には中央労福協・神津里季生会長も出席し、挨拶した。団体・組織の枠を超えた交流が行われ、新たなネットワークも広がった。



6 人のパネラーが思いを語る = 6 月 29 日、東京都内



あいうべ体操の様子 = 6 月 29 日、東京都内

## 全国で一体となった取り組みを展開しよう！

### 2018 年度事業団体・地方労福協合同会議を開催



ESD 活動支援センター  
鈴木 克典 副センター長



ニュー・パブリック・ワークス  
上妻 毅 代表理事

7 月 5 ～ 6 日、中央労福協は東京都内で 2018 年度事業団体・地方労福協合同会議を開催し、約 80 名が出席した。初日は、ESD 活動支援センター・鈴木克典副センター長より「SDGs と労福協の役割」をテーマにご講演いただいた。鈴木副センター長は「労福協の活動は SDGs 達成に貢献する活動そのもの。皆さんの活動がどう SDGs と関わっているのか明確にすることが大切だ」と力強いエールを送った。続いてニュー・パブリック・ワークスの上妻毅代表理事による「民間公益活動促進のための休眠預金活用」と題した勉強会を実施。特に地方労福協の関心が高く、我々がやれることが色々ありそうだとの感想も寄せられた。

2 日目は、2018 全国福祉強化キャンペーンおよび第 2 期



会議の様子 = 7 月 5 日、東京都内

奨学金制度改善・教育費負担軽減の具体的施策について討議した。中央労福協より素案を提案し、労金協会（第 7 面コラム参照）と全労済より取組要請を行うとともに、大阪労福協と南部労福協が好取組事例を報告した。全国一斉行動として行う「奨学金や教育費負担に関するアンケート調査」や「奨学金に関する一斉相談」等を中心に活発な意見交換が行われた。

その他、双方の意思疎通を図るため、地方労福協から事前に出された事業団体への要望・意見に対し、各事業団体から回答を行った。

## 2018 全国福祉強化キャンペーンに労働組合が積極的に参加

中央労福協は 7 月 12 日、東京都内で第 2 回労働組合会議を開催した。本会議では労福協の理念と 2020 年ビジョンを振り返り、労働者福祉事業の利用促進強化を確認した。

中央労福協・松谷和重副会長の進行、黒河悟副会長の挨拶で開会した。第 1 部では、労働者福祉運動アドバイザーの高橋均さんより、「2020 年ビジョンの議論経過と検証について」と題し勉強会を行なった。高橋さんから 10 年前のビジョン作成時の情勢や取り巻く環境、連合ビジョンとの関係等について触れ、今のビジョンが生まれた経過について説明した。あわせて、次期ビジョン策定に向けた課題提起がされた。

第 2 部では、①2018 全国福祉強化キャンペーン取り組み方針（素案）、②第 2 期奨学金制度改善・教育費負担軽減の取り組み（その 2）について意見交換を行った。各組織からの取り組み報告として、連合から西日本豪雨災害対応の進捗状況について、全労金からは「第 6 回協同組織産別・単組シンポジウム」開催について報告がされた。



講演する高橋均アドバイザー＝7 月 12 日、東京都内

最後に、各地で頻発する自然災害から組合員を守るための防災・減災教育や共済活動強化、多重債務から組合員を守るための金融教育の充実等、労働者自主福祉事業の利用促進に向けて福祉事業団体との連携強化を図っていくことを全体で確認し閉会とした。

## 協同組合で働く仲間の連帯強化と運動の前進に向けて 協同組織産別・単組シンポジウム開催

6 月 21 日、東京都内で「第 6 回協同組織産別・単組シンポジウム～持続可能な社会に向けて協同組合・労働組合の役割を発揮しよう！～」が開催された。

このシンポジウムは、労働運動と協同組合運動の社会的役割を再認識し、連携した取り組みを展開していくことを目的に、毎年、国際協同組合デー前月の 6 月に、全国農団労、全労金、全信労連、労済労連、コープさっぽろ労組、コープこうべユニオンで構成する協同組織産別・単組連絡会が主催で開催している。今シンポジウムには、中央労福協・連合本部・労金協会・全労済からも参加した。

来賓挨拶では、連合・神津里季生会長、中央労福協・南部美智代副会長が参加者（118 名）に対して今後の期待を込めて激励した。

講演Ⅰでは、（一社）CSO ネットワーク・黒田かをり事務局長より、「持続可能な開発目標（SDGs）に向けて協同組合に期待すること」と題し、①17 の目標と 169 のターゲット、②政府・企業・NPO の取り組み、③労働と人権について説明がされ、最後に協同組合への期待として、「誰一人取り残されない経済



激励の挨拶をする南部副会長＝6 月 21 日、東京都内

社会システムの構築には協同組合の存在が極めて重要となる。」と述べた。

講演Ⅱでは、（一社）日本協同組合連携機構（以下 JCA）・前田健喜さんより、「協同組合の課題と JCA の発足」と題し、2018 年 4 月に発足した JCA の立ち上げに至る経過と JCA が今後地域で果たす役割等について触れられた。

最後に、協同組合運動・労働運動の強化・拡大、協同組合で働く仲間の連帯強化と前進を目指すアピールが採択された。

## 環境問題への取り組み 労使で行動を 持続可能な社会・経済へ 第 20 回環境フォーラム開催

連合、中央労福協、労金協会、全労済の 4 団体が構成する「ライフスタイルを見直す環境会議」は 6 月 25 日、東京都内で第 20 回環境フォーラムを開催した。「産業や職場における環境の取り組みと労働組合の役割」というテーマのもと、91 名が来場した。

主催者を代表して挨拶したライフスタイルを見直す環境会議・神津里季生代表（連合会長）は、労働組合が取り組む「国連持続可能な開発目標（SDGs）」やパリ協定における「公正な移行」を挙げ、社会・経済の持続可能性のため「企業レベルの労使でできることを考え、行動してほしい」と訴えた。

「生物多様性・自然資本経営」と題して講演した日経 ESG 編集シニアエディター・藤田香さんは、「自然資本を直接利用しない産業においてもサプライチェーンを通じて自然環境に影響を及ぼす懸念がある」と指摘、また「環境問題が、労働問題や貧困などの社会問題とも関係があることを意識していく必要がある」と指摘した。

「エコマークによる『社会面』の取り組みとその普及に受けた課題と挑戦」のテーマで講演した日本環境協会エ



会場には多くの参加者が集まった＝6 月 25 日、東京都内

コマーク事務局基準認証課長・大澤亮さんは、エコマークが商品だけでなくサービスや事業活動に対して新たに認証を付与し始めたことを紹介、昨今の SDGs へ企業が取り組みを進めていることをふまえて、エコマークのさらなる普及に向けた取り組みについて説明があった。

連合本部社会政策局からは 2017 年に連合が実施した「環境への取り組みに関するアンケート」の結果を踏まえ、「連合エコライフ 21」の認知度向上に向けた課題についての提起があった。

## 協同を通じた持続可能な社会へ 第 96 回国際協同組合デー記念中央集会開催される

7 月 10 日、日本協同組合連携機構（JCA）と国際協同組合年記念協同組合全国協議会が、東京都内で第 96 回国際協同組合デー記念中央集会を開催。協同組合関係者、マスコミなど約 450 名が出席した。

JCA・中家徹会長（JA 全中会長）の開会挨拶のあと、来賓として中央労福協・神津里季生会長が「本年 4 月の JCA 発足にあたり、協同組合の連携強化へ向けて歴史的な事業を成し遂げた関係者の皆様に心より敬意を表する。労働団体と生協によって設立された組織として、中央労福協は皆様とともに協同組合の発展に取り組んでいく」と決意を込めた挨拶を行った。

続いて 2 つのパネルディスカッションが行われた。前半は、JA 全中・日本生協連・労金協会・労協連のパネリストが登壇し、持続可能な地域のよりよい暮らし・仕事づくりに向けて設立された JCA に期待される役割について、設立の経緯や今後の方向性等について討議した。

後半は、持続可能な地域のよりよい暮らし・仕事づくりを目指して協同組合が連携して取り組む事例紹介があ



フードバンク埼玉の取り組み報告＝7 月 10 日、東京都内

り、その一つとして埼玉労福協・永田信雄専務理事が共同運営するフードバンクについて報告を行った。

翌 11 日には、JCA 主催による都道府県協同組合連携組織全国交流会議が開催された。JA、生協、労金、全労済、労協連等の県連組織や全国組織の担当者約 120 名が参加し、地域における協同組合間連携を深めるために、経験交流や好事例を共有するとともに、今後の連携強化をテーマにグループワークを実施した。

## 協同の力で、いのち輝く社会をつくる

### 医療福祉生協連が第 8 回通常総会を開催

6 月 8 日、医療福祉生協連は東京都内で第 8 回通常総会を開催した。総会には 273 名が参加し、「医療福祉生協の『総合力』を活かし『連携』を促進し、自生協の地域包括ケアを実現する」など、2018 年度活動方針を含む 7 議案すべてを採択した。

議案提案後の全体討論では 17 名の代議員が発言し、総合力の発揮、助け合い運動や総合事業の取り組みなど幅広いテーマで活発な議論が行われた。

最後に、2 つの総会アピール「今こそ日本国憲法を 300 万組合員とともに学び、対話をひろげ、理念にかかげる『平和をつくる。』を実現しましょう」「生協の『総合力』を活かしきり、健康なまちづくりと経営基盤の安定化をすすめよう」を拍手で確認し、総会を終了した。

来賓として、厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 消費



生活協同組合業務室 室長 岡河義孝様、公益社団法人日本医師会 常任理事 市川朝洋様、公益社団法人日本歯科医師会 副会長 牧野利彦様、公益社団法人日本薬剤師会 専務理事 寺山善彦様、日本生活協同組合連合会 会長 本田英一様にお越しいただいた。

## 住宅生協らしさを前面に住宅・宅地を供給し続ける！

### －住宅生協連合会 2018 年度総会開く－

「住宅生協らしさを前面に、福祉事業団体の使命を全うしよう！」をスローガンに、住宅生協連合会は 6 月 14 日、東京都内で 2018 年度通常総会を開催し、活動方針、予算などを決めるとともに、新役員を選出した。

総会は兵頭副理事長の開会挨拶で始まり、議長に上石代議員（三重県住宅生協）を選出、中居理事長挨拶の後、来賓挨拶（逢見連合会長代行、花井中央労福協事務局長）を受けた。

引き続き、審議に入り、①2017 年度事業報告・決算報告・監査報告、②剰余金処分案、③2018 年度活動方針案、④2018 年度収支予算案－などを満場一致で可決した。任期

満了に伴う役員改選を行い、理事長に中居信明氏（三重県住宅生協理事長）を再選し、松元理事の閉会挨拶で総会を終了した。

<新役員は次の通り>

○理事＝中居信明（代表理事・理事長／三重県住宅生協）、兵頭康宏（副理事長／愛媛県労住協）、武山信一（代表理事・専務理事／員外）、長須厚雄（東京労働者住宅協会）、松元光彦（滋賀県住宅生協）

○幹事＝浅田道憲（長野県住宅生協）、綱木富夫（愛知県住宅生協）

## 全福センターが平成 30 年度定時総会を開催

6 月 12 日、全福センターは東京都内で会員 SC・賛助会員の計 212 団体の参加のもと平成 30 年度定時総会を開催した。

野寺康幸会長による挨拶のあと、来賓として厚生労働省 雇用環境・均等局 勤労者生活課 勤労者福祉事業室の外山恵美子室長が次のとおり挨拶を行った。

「東京商工会議所の調査によると、入社した会社を選んだ理由の 4 位が“福利厚生”。そうしたニーズを意識すれば中小企業のなかで福利厚生の充実が人材獲得策として有効との認識が広がる可能性があり、SC の加入拡大のチャンスに繋がるのではないかと。また、厚生労働省の依頼により独立行政法人労働政策研究・研修機構（JILPT）が『企業における福利厚生施策の実態に関する調査』を実施しており、近く調査結果を公表するので是非参考にしてほしい」。

議事では、平成 29 年度決算及び監査報告を含む 2 議案



が全会一致で採択された。続いて、平成 29 年度事業報告、第五次中期事業計画等について報告があった。長年継続して取り組んでいる「国・自治体・事業主の責務を盛り込んだ法制化」については、中央労福協と協働で実施した政府・政党への要請行動などが報告された。

## 第 14 回全国労働金庫大会開催される

～労金協会、日本労信協が総会を開催～

6 月 28 日、労金協会は東京都内で第 90 回定時総会を開催し、第 II 期中期経営計画（2018-2020 年度）、2018 年度事業計画等の全 6 議案について原案どおり可決承認した。なお、役員改選により加藤幸博専務理事と吉田光好常務理事が退任し、後任に高橋精一専務理事（前長野労金理事長）と佐藤憲仁常務理事（前北海道労金専務理事）が選出された。

続いて第 14 回全国労働金庫大会が開催され、労働者福祉事業団体、労金運動中央推進会議、全国の労金関係者、マスコミ等 252 名が参加した。労金協会・中江公人理事長の挨拶のあと、来賓として連合・逢見直人会長代行、金融庁・森信親長官、厚生労働省・蒲原基道事務次官、日本銀行・衛藤公洋理事、中央労福協・花井圭子事務局長が挨拶に立った。花井事務局長は、「厳しい市場競争の中、銀行カードローン対策や非正規労働者の生活支援、奨学金返済の借り換えなど労金ならではの独自性を発揮し社会的役割を果たしていることに敬意を表したい。今



後も連携を深め労働者自主福祉運動を共に推進していく」と決意を述べた。

また同日、日本労働者信用基金協会（日本労信協）が東京都内で第 49 回定時総会を開催し、全議案について可決承認した。

## 労協連が第 39 回定期全国総会を開催

6 月 22～23 日、日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会は東京都内で第 39 回定期全国総会を開催した。

冒頭、古村伸宏理事長は「協同労働の協同組合法の成立が近づいている今、法制化と協同労働の内実を、より多くの市民や自治体、議会に届けていこう。協同や働くことの価値を取り戻そうという協同労働運動により、人と地域の様々な分断を解消し、社会を協同の原理で再構築しよう」と決意を込めた挨拶を行った。続いて、来賓として挨拶した中央労福協・花井圭子事務局長は「協同労働の協同組合法の法制化については重点政策課題として関係省庁、政党に政策・制度要請を行っている。誰もが安心して暮らせる社会をつくるために、社会保障制度の再構築とともに、支えあい・助け合いによる地域づくりが急がれている。ともに頑張ろう」とのエールを送った。

総会では、2017 年度総括、2017 年度決算及び監査報告、2018 年度活動方針など全 5 議案が提起され、全会一致で



採択された。2018 年度活動方針では具体的計画として「協同総合福祉拠点（みんなのおうち）」構想（第 1 層）や「地域未来産業開発」（第 3 層）への挑戦など、既存の事業（第 2 層）に加えた 3 層構造の全面的発展などを掲げている。

連載

## 助け合い・支え合いの現場から



(公財) 沖縄県労働者福祉基金協会  
前専務理事 玉城 勉 さん

第 2 回

先進県から学び、熱い思いで創り上げた  
寄り添い型支援システム

● 就職支援、生活支援等の取組みのきっかけや経緯を教えてください。

まず、石川県労福協から学んだ子育て支援です。急な残業やシフト勤務を含め、制度の隙間で困っている働く人々を支援するため、予定外

や病児・病後、宿泊を伴う託児等の企画を厚労省に提案しました。その中で、ひとり親や生活の苦しい方々から「生活に困っている、仕事を紹介してほしい」といった相談を受け、制度活用以外もできる限りの支援を行い、3年で約 200 人を就職に繋ぐことができました。

一方、徳島や山口の労福協の情報も参考に、就労支援に取り組みました。当時、連合と経営団体が共同で行っていた労使就職支援センターで、生活の安定には生活支援と就職支援を同時に行うことが必要という経験と知見を得ていました。リーマンショック後は政府の基金もでき、生活支援、職業訓練、就職支援、生活安定までの出口戦略を描いた事業を企画し、一人一人に寄り添い、行政や社協の制度を活用し、NPOとも連携する支援を実践しました。資金が足りない分は職員カンパやフリマも行うなど、悩みながらも明るく楽しく元気のある職場でした。自立に向かって歩みだす相談者の姿が私たちのやりがいの原動力です。

ちょうどその頃、パーソナルサポートサービスを創ろうという動きの中心にいた内閣府参与の湯浅誠さんが沖縄の取組みに着目し、来県することになりました。行政・経営者団体・NPO等とも連携し、出口戦略を明確にしている取組みが、湯浅さんの描く新しい支援の姿と重なり、モデル事業がスタートしました。これが、連合や中央労福協の強力な取組みも得て、後に生活困窮者自立支援法に繋がったと思います。



ファミリーサポートセンターのみなさん

わたしたちの  
労働者福祉  
- 福祉事業団体リレー紹介 -

労金協会

更なる連携で運動を深め、広げよう

ろうきんは、労福協の皆さんと一緒に 2018 全国福祉強化キャンペーンに取り組みます。

特に、組合員の利用促進や共助拡大を図り生活を豊かにするために、「生活設計」「生活改善」「生活防衛」の3つを柱にした「生活応援運動」を強化します。具体的には、高金利で過剰な融資が社会問題化した銀行カードローンによる多重債務者への対応やろうきんへの借換えによる可処分所得の向上、金融知識を身に付けるためのセミナーの開催、非正規労働者の生活支援などに、これまで以上に積極的に取り組んでいきます。

また、奨学金問題についても、更なる制度の改善に向けて労福協が取り組む全国一斉相談と歩調を合わせ、返済に苦しむ方の相談や教育資金ニーズに応じるなど、ろうきんが出来ることをしっかりと実施していきます。

来る 2019 年は中央労福協が設立 70 周年を迎えるなど大きな節目の年です。ろうきんも改めて労福協の皆さんと顔を合わせ、心を合わせ、力を合わせて頑張って参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



©ROKIN

## 憲法よりも早く制定された労働組合法①

## 敗戦で続々と結成された自主的な労働組合

戦後、日本を占領した連合国軍総司令部（GHQ）は、「日本国政府ハ日本国民ノ間ニ於ケル民主主義傾向ノ復活強化ニ対スル一切ノ障礙ヲ除去スベシ」というポスターダム宣言を受けて、一九四五（昭和二十）年十月十一日に、労働組合結成の奨励、女性参政権付与、学校教育の自由化、財閥解体などを日本政府に命じた。そこで日本政府は十月二十七日、厚生省に三十四名の委員からなる「労務法制審議委員会」を設置して「労働組合法」制定のための検討を始めたのである。

しかし戦争中、解散もしくは産業報国会への転換を余儀なくされていた労働組合は、八月十五日の敗戦を機に、労働組合法の制定を待つまでもなく各地で再建にとりかかる。

早くも十月五日に「全日本海員組合」が結成され、十日には松岡駒吉ら戦前の総同盟のメンバーを中心に、さまざまな潮流の活動家たちが加わって「労働組合総同盟」の中央準備会を立ち上げた。十一日には、埼玉労金の初代理事長で戦前からの活動家であった井堀繁雄によって、埼玉金属労働組合が再建されている。十一月二十日には東京交通労働組合が、二十三日には広島の日立造船因島工場で「総同盟中国造船労働組合因島支部」が結成された。戦前の因島労働育ての親、金正米吉（後の総同盟会長）が敗戦直後の九月に因島を訪れ、旧組合幹部を集めて労働組合結成を促したことが機縁になったことが記録に残されている。十二月十四日、川崎の東芝・堀川町工場で「堀川町従業員組合」結成大会が開かれた。「全日本教員組合」も十二月一日に結成された。日本教職員組合（日教組・昭和二十二年六月八日）の母体となった組合だ。全国組織の労働組合は海員組合に次いで二番目であった。各地で結成された労働組合はラジオや新聞で報道され、世間の注目を浴びたという。

労組法が成立する以前に、労働者が自主的に結成した労働組合数は、昭和二十年末には、五〇九組合三十八万六七七人を数えたのである。わずか三か月間の出来事であった。

そして、労働組合法は暮れも押し詰まった十二月二十二日の帝国議会で成立する。憲法よりも早く制定されたのだった。（高橋均）

ZENROSAL NEWS



全労済  
公式キャラクター  
ビットくん

あらゆる暮らしのシーンを  
しっかりガード。



全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら  
**全労済**  
全国労働者共済生活協同組合連合会

ろうきんなら  
ATMの  
引出し手数料  
**0円**だよ!

けっこう使える  
だから おすすめ!

ろうきんのキャッシュカードなら

セブン銀行 三井住友銀行 net 0円  
VIEWALTE ATM のATM引出し手数料が **0円**

※1 セブン銀行で1回100円・三井住友銀行で100円（税込）の手数料がかかりますが、手数料を即時キャッシュバック致します。（一部店舗を除きます。詳細は各店舗のホームページにてご確認ください）  
※2 ネットバンクで利用可能な店舗に限ります。

さらに!! 全国の銀行・ゆうちょ銀行・信金などで使えて  
ATMお引出し 手数料を即時 **キャッシュバック!**

※全国約1,000店舗で利用可能な店舗にて利用手数料をお支払いいただき、引き当り金額は、利用したATMの残高に比例して変動します。詳細は各店舗のホームページにてご確認ください。